

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2020-129126 (P2020-129126A)

【公開日】令和 2 年 8 月 27 日 (2020.8.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-034

【出願番号】特願 2020-76195 (P2020-76195)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

B 6 0 J 3/02 (2006.01)

B 6 0 J 3/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/13 5 0 5

G 0 2 F 1/1335

C 0 9 J 201/00

B 6 0 J 3/02 S

B 6 0 J 3/04

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 8 日 (2021.6.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリカーボネートを含む樹脂によって形成された一対の透明基材と、
前記一対の透明基材の間に配置された調光セルと、
前記透明基材と前記調光セルとの間に配置され、前記透明基材と前記調光セルとを接合
する 2 つの接合層と、を備え、
前記一対の透明基材の厚みは、1 mm 以上 5 mm 以下であり、
前記調光セルは、電子制御により可視光透過率を調節可能であり、
前記接合層の貯蔵弾性率は、室温環境において、 3×10^4 Pa 以上 6×10^6 Pa 以
下であり、
前記接合層の少なくとも一方の厚さは、50 μ m 以上であり、
前記調光セルの厚みは、100 μ m 以上 800 μ m 以下であり、
前記調光セルは、液晶セルを含み、
前記液晶セルには、VA 方式、TN 方式、IPS 方式、FFS 方式または GH 方式の液
晶が用いられ、
前記一対の透明基材は、シャルピー衝撃値が 1 kJ/m^2 以上であり、
前記一対の透明基材に含まれるポリカーボネートの分子量は、17000 以上である、
調光部材。

【請求項 2】

前記接合層の貯蔵弾性率は、室温環境において、 1.4×10^6 Pa 以下である、請求
項 1 に記載の調光部材。

【請求項 3】

前記接合層の貯蔵弾性率は、室温環境において、 1×10^5 Pa 以上である、請求項 1 または 2 に記載の調光部材。

【請求項 4】

前記透明基材と前記接合層との間に配置された易接着層をさらに備える、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の調光部材。

【請求項 5】

前記透明基材と前記接合層との間に配置されたバリア層をさらに備える、請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の調光部材。

【請求項 6】

前記透明基材の前記接合層が配置された側とは反対側に、反射防止層をさらに備える、請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の調光部材。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の調光部材を備える、サンバイザ。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のサンバイザを備える、移動体。